

## スズキ、インドでAセグメントの新型「ワゴンR」を発売



マルチ・スズキ社の新型「ワゴンR」

スズキ株式会社のインド子会社マルチ・スズキ社は、小型乗用車「ワゴンR」を全面改良して1月23日より販売開始した。

インド製として3代目となる**新型「ワゴンR」**は、新プラットフォーム [HEARTECT (ハーテクト)] を新たに採用し、インドのワゴンRとして初めてAセグメントの専用ボディを開発した。従来モデル比で全幅を145mm拡大し力強く安定感のあるデザインに刷新することで、ワゴンRの特長である広い室内空間を実現した。

エンジンは定評のある1.0Lガソリンエンジンに加え、よりパワフルな1.2Lガソリンエンジンを新たに設定した。軽量・高剛性の車体との組み合わせにより、安全性を高めながら優れた低燃費と快適な走行性能を実現した。

スズキが1999年にインド市場へ投入した「ワゴンR」は、当社が得意とする小型エントリーカーの主力モデルとしてお客さまから高い評価をいただき、これまで累計で約220万台※を販売した。生産はマネサール工場で行われ、マルチ・スズキ社のアリーナ店を通じて販売する。

※2018年12月末現在。スズキ調べ

### ●新型「ワゴンR」の主要諸元

- ・全長3,655mm×全幅1,620mm×全高1,675mm
- ・エンジン：1.0Lガソリン／1.2Lガソリン

(ご参考) ワゴンRのインド国内販売実績(2018年1～12月) 152,020台